日常の指導体制

別紙１

管理職

・学校いじめ防止基本方針の具現化　・いじめを許さない姿勢
・風通しのよい職場環境の整備　・保護者・地域との連携

いじめ対応チーム

【構成員】
校長、教頭、生徒指導部長、保健環境部長、
各学年主任、養護教諭、学年生徒指導係、
生徒指導部部活動係、
キャンパスカウンセラー　等

・学校いじめ防止基本方針の検証と改善
・年間指導計画の作成、実施
・学校評価による検証、改善
・職員研修会の充実
・アンケート結果、報告等情報の集約と分析
・いじめが疑われる案件の事実確認・判断
・早期解決に向けた指導方針の決定

職員会議

・情報の共有
・指導方針の共有
・職員研修の実施

未然防止に向けて

いじめを生まない土壌づくり

■学習指導の充実
・規律正しい授業環境の整備
・わかる授業づくり
・学力向上に向けた授業改善
■特別活動、部活動の充実
・集団の一員としての自覚の醸成
・生徒による自主的運営の支援
■教育相談の充実
・面談の定期開催
・キャンパスカウンセラーの活用
■道徳教育、人権教育の充実
・自己有用感を獲得させる学校運営
・人権意識の高揚
■情報教育の充実
・情報モラルの指導の充実
・サイバー犯罪防止講演会等の開催
■保護者・地域との連携
・学校いじめ防止基本方針の周知
・保護者、地域団体への情報発信

早期発見に向けて

■情報の収集
・教職員の観察による気付き
・養護教諭・キャンパスカウンセラーとの連携
・生徒・保護者・地域からの情報交換や協議
・中学校との連携による情報共有
・朝の登校指導
・いじめアンケートの実施
・生活実態・学習状況調査の実施
・定期的な面談の実施（生徒・保護者）
■相談体制の確立
・相談窓口の設置・周知
・キャンパスカウンセラーの活用
■情報の共有
・教職員間の情報共有の徹底
・管理職への報告の徹底
・要配慮生徒の実態把握
・次年度への申し送りの徹底

早期発見のためのチェックリスト　　別紙２

いじめが起こりやすい･起こっている集団

- ☐ 朝いつも誰かの机が曲がっている
- ☐ 教職員がいないと掃除がきちんとできない
- ☐ 掲示物が破れていたり落書きがあったりする
- ☐ グループ分けをすると特定の生徒が残る
- ☐ 特定の生徒に気を遣っている雰囲気がある
- ☐ 些細なことで冷やかしたりするグループがある
- ☐ 学級やグループの中で絶えず周りの顔色をうかがう生徒がいる
- ☐ 自分たちのグループだけでまとまり、他を寄せつけない雰囲気がある

いじめられている生徒

◎日常の行動・表情の様子

- ☐ わざとらしくはしゃいでいる
- ☐ おどおど、にやにや、にたにたしている
- ☐ 下を向いて視線を合わせようとしない
- ☐ 顔色が悪く、元気がない
- ☐ 早退や一人で下校することが 増える
- ☐ 遅刻・欠席が多くなる
- ☐ 腹痛など体調不良を訴えて保健室へ行きたがる
- ☐ ときどき涙ぐんでいる
- ☐ いつもみんなの行動を気にし、目立たないようにしている
- ☐ 友だちに悪口を言われても言い返さなかったり、愛想笑いをしたりする

◎ 授業中・休み時間

- ☐ 発言すると他の生徒から冷やかされる
- ☐ 一人でいることが多い
- ☐ 班編成の時に孤立しがちである
- ☐ 教室へいつも遅れて入ってくる
- ☐ 学習意欲が減退し、忘れ物が増える
- ☐ 教職員の近くにいたがる
- ☐ 教職員がほめると冷やかされたり、陰口を言われたりする

◎ 昼食時

- ☐ 食事の量が減ったり、食べなかったりする
- ☐ 食べ物にいたずらされる
- ☐ 教室で一人離れて食べている
- ☐ 弁当を無断で食べられたりする

◎ 清掃時

- ☐ いつも雑巾がけやごみ捨ての当番になっている
- ☐ 一人で離れて掃除をしている

◎ その他

- ☐ トイレなどに個人を中傷する落書きが書かれる
- ☐ 持ち物や机、ロッカーに落書きをされる
- ☐ 持ち物が壊されたり、隠されたりする
- ☐ 理由もなく成績が突然下がる
- ☐ 部活動を休むことが多くなり、やめると言い出す
- ☐ 服に靴の跡がついている
- ☐ ボタンがとれたり、ポケットが破れたりしている
- ☐ 手や足にすり傷やあざがある
- ☐ けがの状況と本人が言う理由が一致しない
- ☐ 必要以上のお金を持ち、友だちにおごるなどする

いじめている生徒

- ☐ 多くのストレスを抱えている
- ☐ 家や学校で悪者扱いされていると思っている
- ☐ あからさまに、教職員の機嫌をとる
- ☐ 特定の子どもにのみ強い仲間意識をもつ
- ☐ 教職員によって態度を変える
- ☐ 教職員の指導を素直に受け取れない
- ☐ グループで行動し、他の生徒に指示を出す
- ☐ 他の子どもに対して威嚇する表情をする
- ☐ 活発に活動するが他の生徒にきつい言葉をつかう
- ☐ 言動の中に差別意識が見られる
- ☐ 教師が近づくと、集団が黙り込む
- ☐ 教師が近づくと、集団が分散する

年間指導計画　　**別紙３**

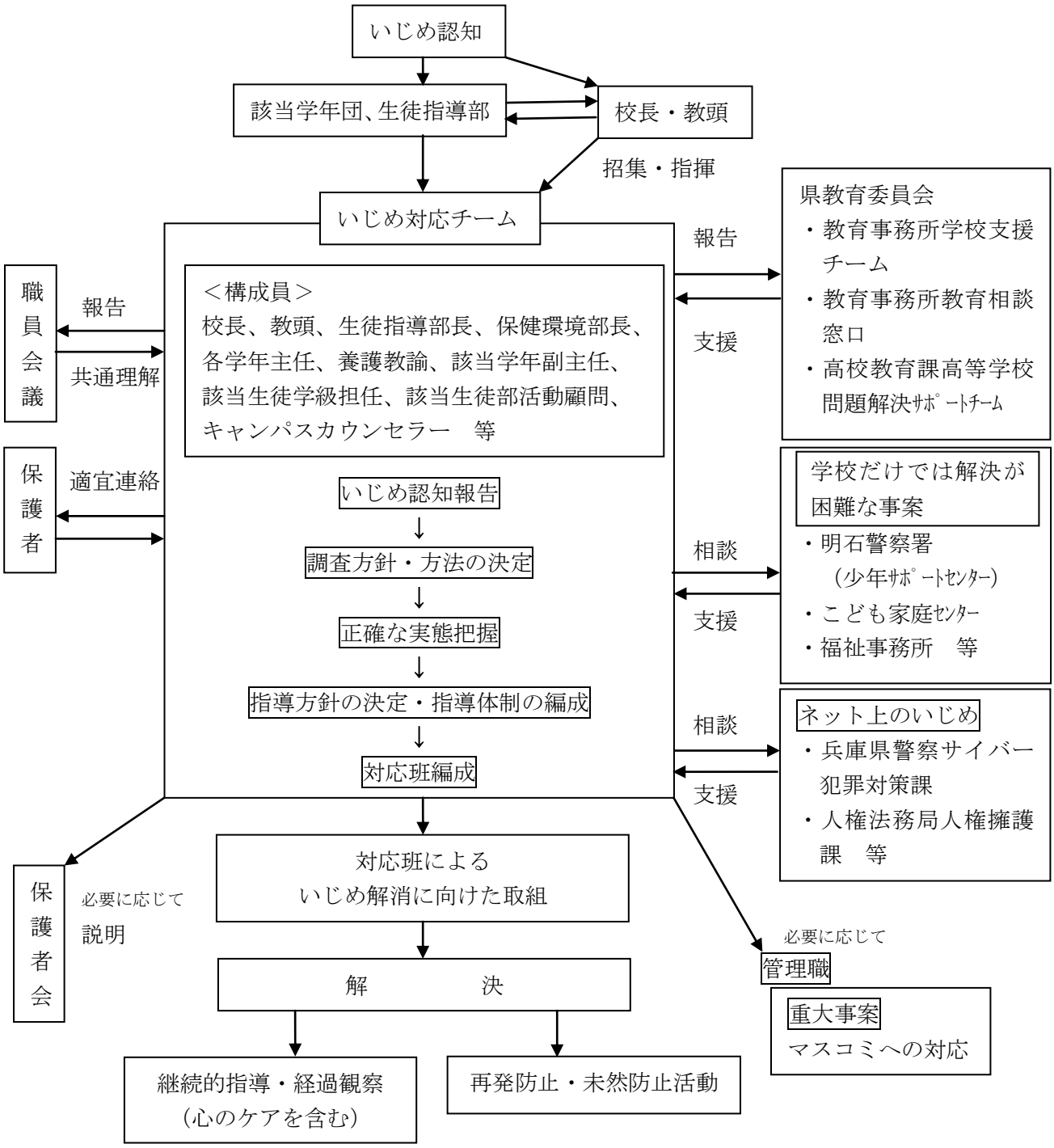
	職員会議・研修等	未然防止に向けた取り組み	早期発見に向けた取り組み
4月	いじめ対応チーム会議① ・指導方針 ・指導計画等	中学校との情報交換（入学前） 学級づくり 新入生ｵﾘｴﾝﾃｰｼｮﾝ	通年のキャンパスカウンセリング 個人面談
5月	保護者向け啓発	遠足（含事前準備）	個人面談 家庭学習時間調査 ３年生保護者会
6月		高等学校総合体育大会 明高祭 人権学習	生活実態(いじめ)ｱﾝｹｰﾄ① 公開授業週間
7月	ｶｳﾝｾﾘﾝｸﾞ・ﾏｲﾝﾄﾞ研修 保護者向け啓発	球技大会 美術科小高連携授業 地域清掃活動	１年生保護者会 教育相談・特別支援教育委員会 三者面談
8月	県教委主催研修会 県教委主催研修会の還元	夏休み小学生教室 ふれあい納涼ｺﾝｻｰﾄ	
9月	いじめ対応チーム会議② ・情報共有 ・２、３学期の計画	体育大会	研究授業の実施（２学期） 個人面談
10月		美術科小高連携授業 ふれあい育児体験 人権学習	家庭学習時間調査 ２年生保護者会
11月		高等学校新人大会等 美術科研修旅行 高等学校総合文化祭	生活実態(いじめ)ｱﾝｹｰﾄ② 公開授業週間
12月	ｶｳﾝｾﾘﾝｸﾞ・ﾏｲﾝﾄﾞ研修 学校評価生徒ｱﾝｹｰﾄ 保護者向け啓発	人権教育講演会 ｻｲﾊﾞｰ犯罪防止教室 地域清掃活動	教育相談・特別支援教育委員会 三者面談
1月	学校自己評価	普通科修学旅行 ふれあい育児体験	
2月	学校自己評価の総括 ｶｳﾝｾﾘﾝｸﾞ・ﾏｲﾝﾄﾞ研修	人権学習	生活実態(いじめ)ｱﾝｹｰﾄ③
3月	いじめ対応チーム会議③ ・本年度のまとめ ・来年度の課題検討	球技大会 地域清掃活動	教育相談・特別支援教育委員会

事案発生時　いじめ対応チーム会議及び職員会議の適時開催

規律正しい授業環境の整備　わかる授業づくり　特別活動・部活動の充実

教育相談の充実　キャンパスカウンセラーの活用

緊急時の組織的対応　　**別紙４**



【対応にあたって留意すること】

■被害者やいじめを知らせた生徒等を守り通すために、事実確認にあたっては慎重な配慮をする。

・いじめを発見した時は、ただちに当事者双方及び周囲の生徒から、個別に複数名の教職員で事実関係を聞き取り、記録する。なお、ひとつの事象のみにとらわれず、いじめの全体像を把握することに留意する。

・必要に応じて、全校生徒または該当学年生徒対象にアンケートを実施する。

■双方の保護者に事実関係を伝えた上で、学校の指導方針を伝え、今後の対応について協議する。また、いじめた生徒の保護者には、毅然とした姿勢を示し、事の重大さを認識させ、家庭での指導を依頼する。

■双方の保護者と関係職員が連携して関係改善を図るとともに、周りの生徒への指導も継続する。